



記者発表

平成26年10月3日
福島河川国道事務所

東北中央自動車道(福島～米沢)工事見学会のお知らせ
～報道関係者を対象に工事状況を説明～

東北中央自動車道(福島～米沢)は、平成29年度の開通を目指し、鋭意工事を行っています。
つきましては、現在の工事状況について、報道関係者を対象とした工事見学会を開催します。

東北中央自動車道(福島～米沢)は福島市と米沢市を結ぶ延長約28kmの無料の自動車専用道路であり、栗子トンネル(延長8,972mで東北最長)を含むトンネル9箇所、橋梁17橋など、構造物延長が約6割を占める道路となります。

当該区間が開通すると、所要時間が大幅に短縮されるだけでなく、冬季の通行障害や、豪雨等による通行止めを回避できるなど、信頼性が高まり、安全・安心な通行が可能となります。

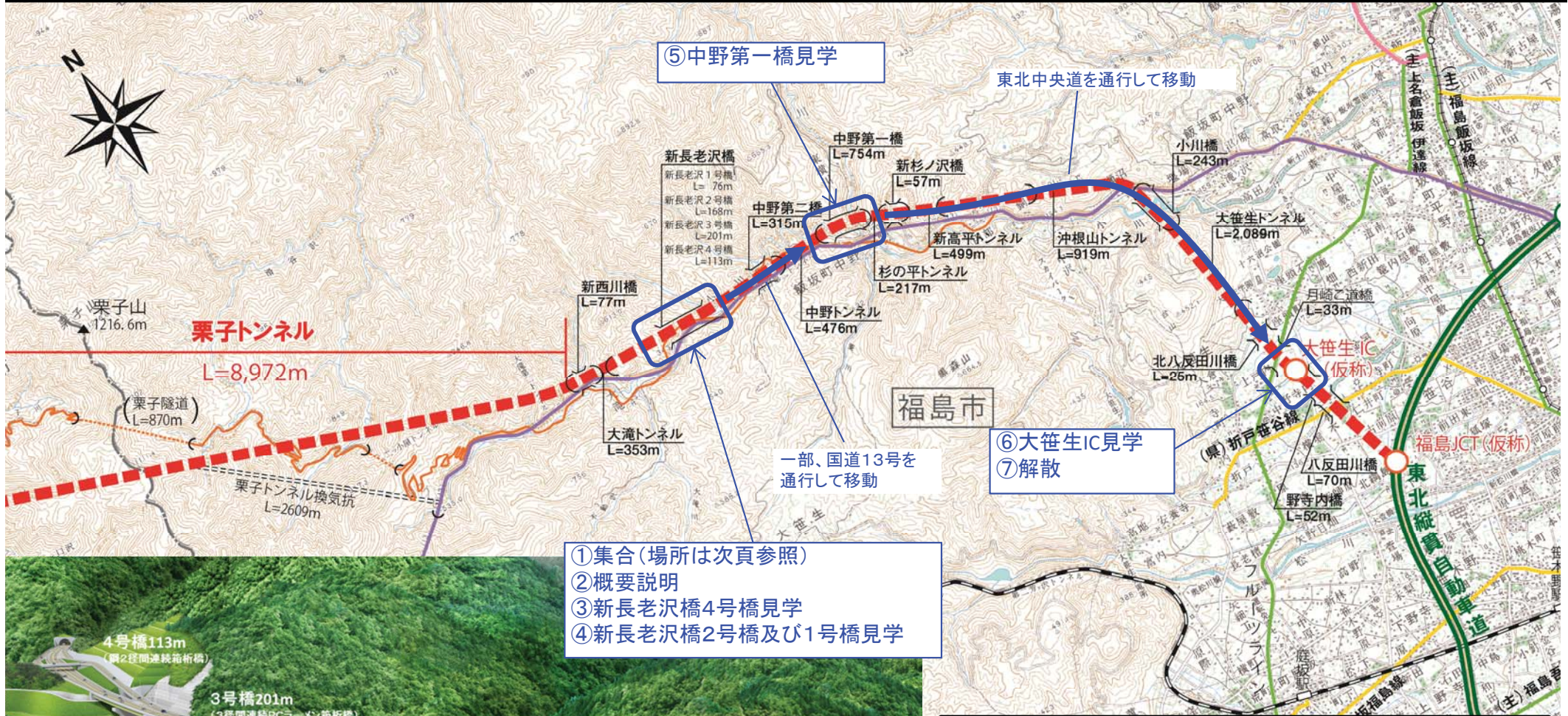
- 日時 平成26年10月17日(金) 午前10時～12時
- 見学場所 福島市飯坂町中野～福島市大笹生 地内・・・別紙-1参照
- 募集対象 報道関係者 ※一般の方の見学は対象外とさせていただきます。
- 申込み先 参加される場合は事前に下記問い合わせ先に記載している計画課直通へ10月14日(火)までに連絡をお願いします。
- その他
 - ・集合場所・・・別紙-2参照
 - ・現場内は、各社の車で自走移動となります。
 - ・雨天決行ですが、台風や大きな地震などの場合は中止します。
※中止の場合は、前日までに電話連絡をいたします。

発表記者會〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024-546-4331(代表)
※申込みは計画課直通(Tel 024-539-6132)へお願いいたします。
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

	あかさか ひろし	
副所長(道路)	赤坂 浩	(内線205)
	たかはし たかし	
計画課長	高橋 隆	(内線261)



- ①集合(場所は次頁参照)
- ②概要説明
- ③新長老沢橋4号橋見学
- ④新長老沢橋2号橋及び1号橋見学

- ### 行程
- ① 9:50 集合
 - ② 10:00~10:15 概要説明
 - ③ 10:15~10:45 新長老沢4号橋 桁架設状況見学 (新長老沢2号橋及び1号橋へ移動) ※各自車で移動
 - ④ 10:50~11:05 新長老沢2号橋及び1号橋見学 (中野トンネルから中央道本線を走行) ※各自車で移動
 - ⑤ 11:10~11:25 中野第一橋見学 (中央道本線を走行し大笹生ICへ移動) ※各自車で移動
 - ⑥ 11:40~12:00 大笹生IC見学
 - ⑦ 12:00 解散

集合場所

※ベース図・写真はgoogleMAPを使用



高規格幹線道路ネットワークを形成 福島市～米沢市の所要時間

約20分

((仮)大笹生IC～(仮)米沢IC間)

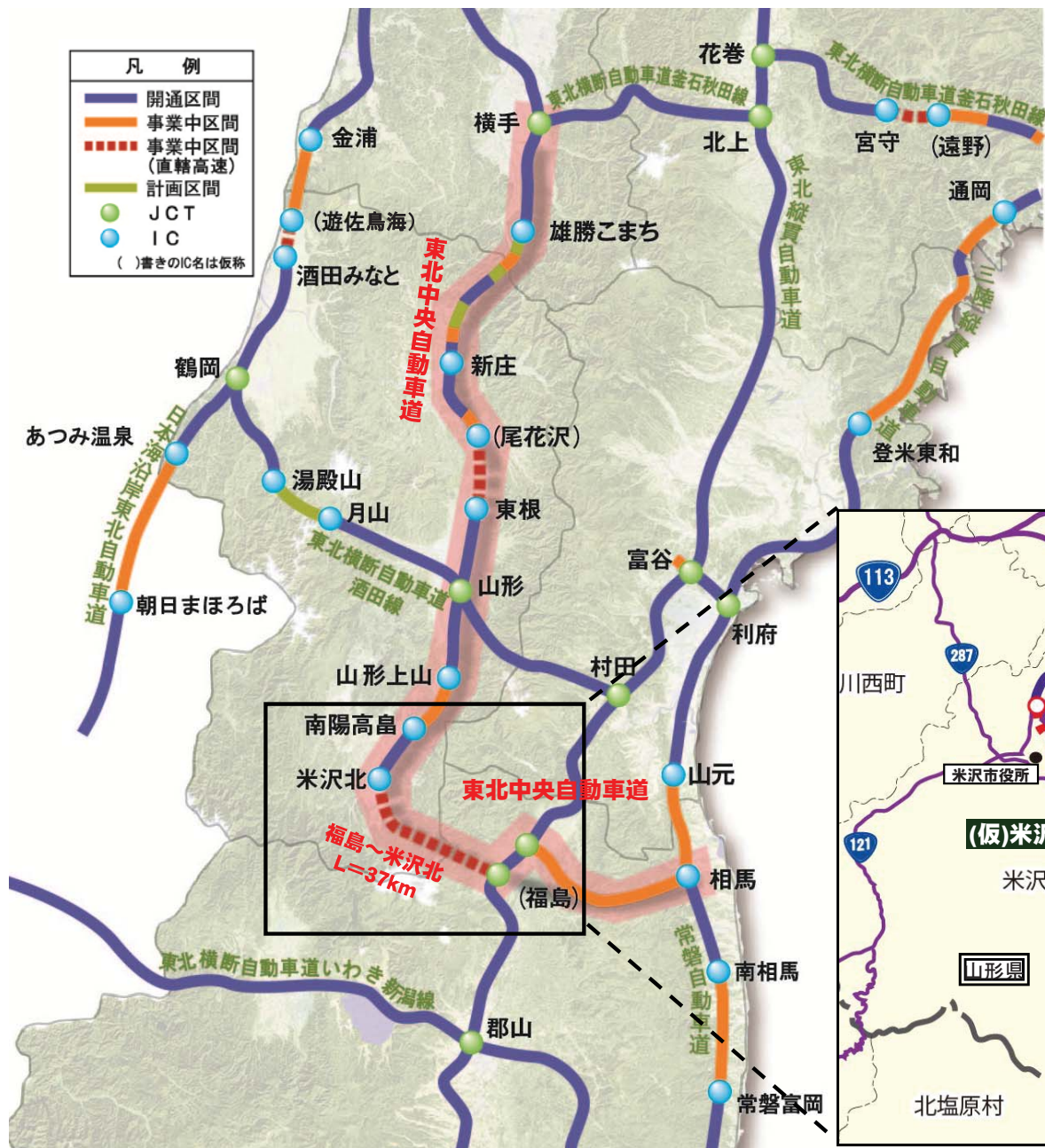
現況

約40分

整備後

約20分
(半減)

※所要時間の算出において、既存道路は道路時刻表より、当該区間は暫定2車線供用の想定規制速度で算出



- 凡 例
- 開通区間
 - 事業中区間
 - 事業中区間 (直轄高速)
 - 計画区間
 - JCT
 - IC
 - ()書きのIC名は仮称

通勤通学等にも利用されている現国道13号は支障多く通行止め頻発。開通後は、

安全・安心・快適な移動が可能

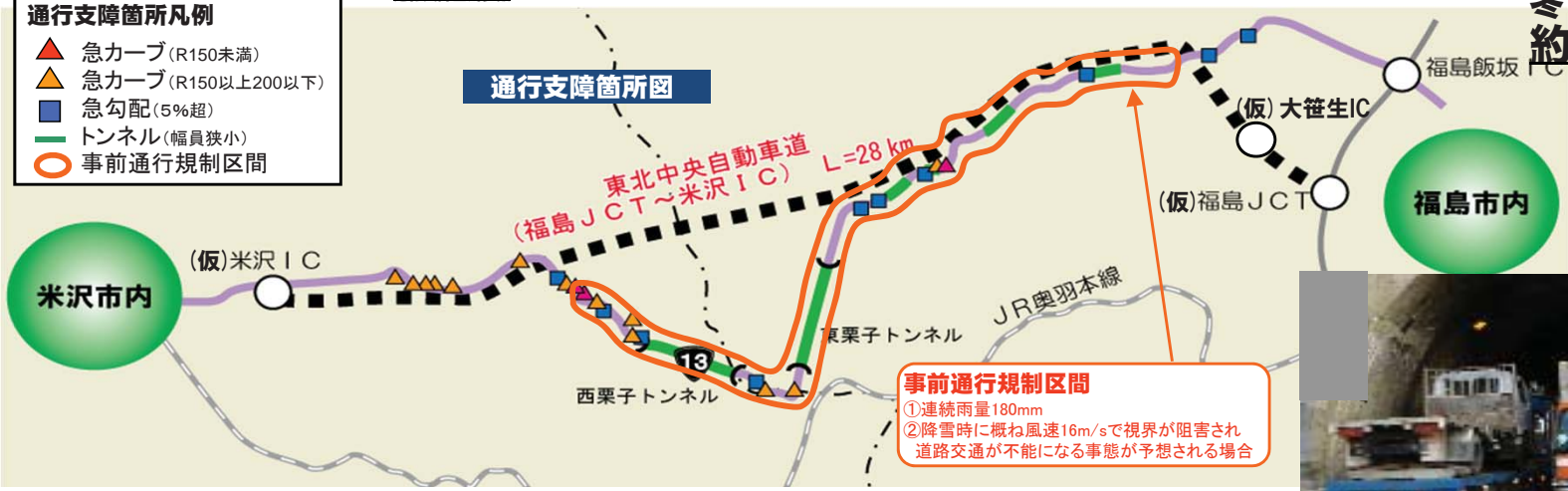
生活にも直結する

現在の国道13号(福島市～米沢市)の状況

福島～米沢方面の通勤通学流動約400人(H22国調)
 福島⇒山形への避難者約6000人(H25.12現在)

- 通行支障箇所凡例**
- ▲ 急カーブ(R150未満)
 - ▲ 急カーブ(R150以上200以下)
 - 急勾配(5%超)
 - トンネル(幅員狭小)
 - 事前通行規制区間

通行支障箇所多数



冬は平均
約150台のスタック車発生 (H17～24平均値)



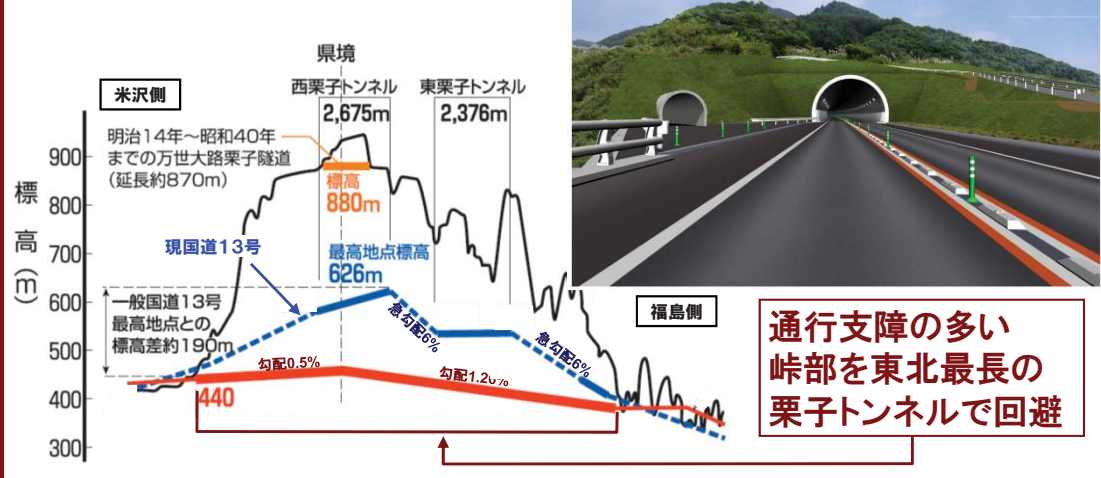
トンネル部は大型車すれ違い困難

通行止め 年平均6回発生
 迂回時間2倍(通常1時間⇒迂回2時間 ※市役所間)

(H16～24平均値。全止めのみ。発生要因は事故、大雨、雪スタックなど)



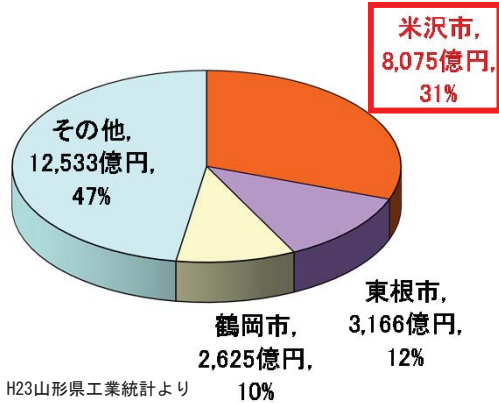
完成イメージ



製造品出荷額 山形県内1位
米沢市の交通基盤となり

地域経済を支援

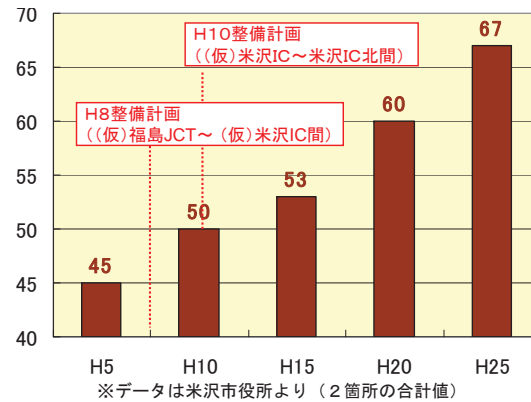
▼山形県内 市町村別
製造品出荷額シェア (H23)



IC周辺では東北中央道整備とともに 立地企業数が増加

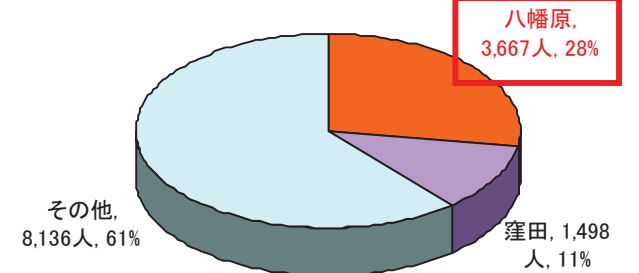
至 山形

▼立地企業数推移

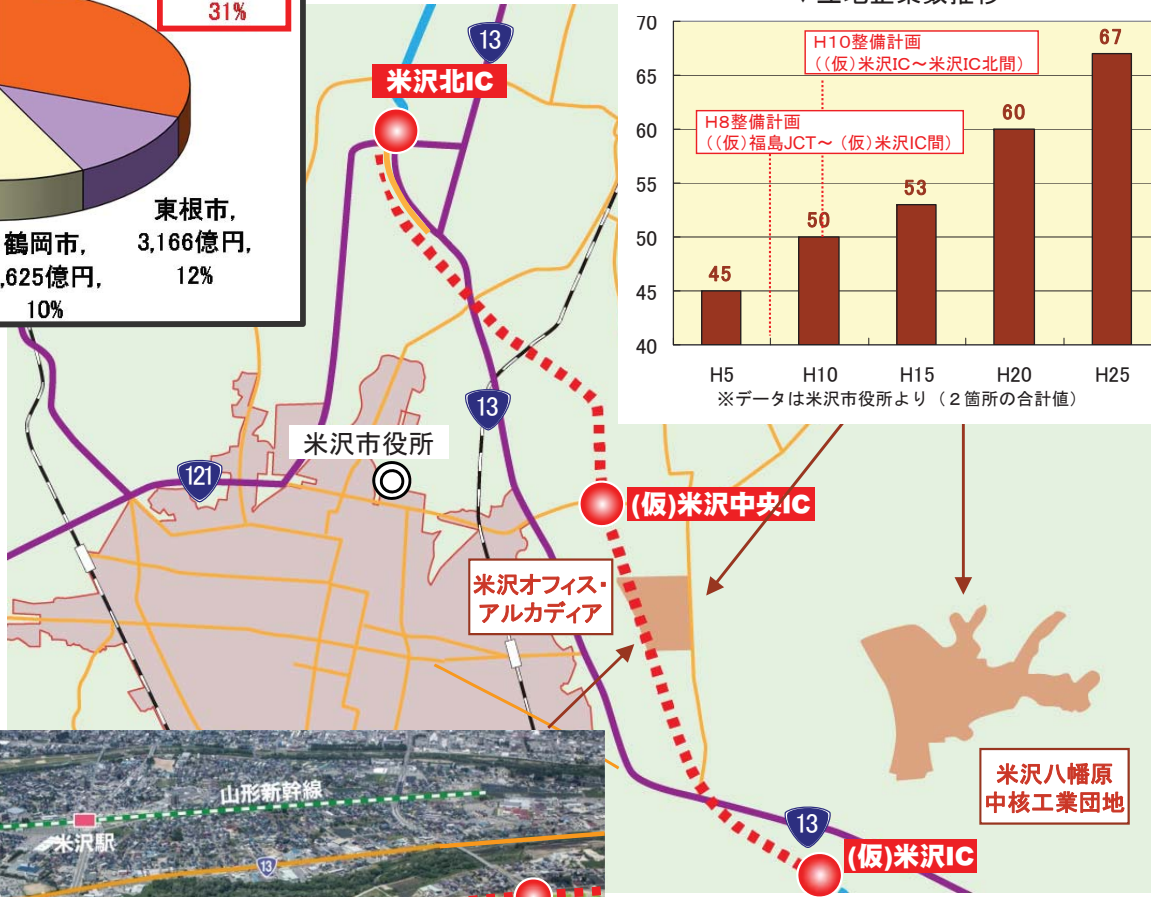


県内最大規模の米沢八幡原中核工業団地 では多くの雇用を創出

▼米沢市内工業団地別従業員数シェア (H22)



※「H22米沢市の工業」より。
米沢オフィス・アルカディアは工業団地ではないので対象外



※参考(米沢市HPより)

H25.4現在

	米沢八幡原中核工業団地	米沢オフィス・アルカディア
分譲開始	S53	H12
面積	384ha	33ha
区画数	112区画	44区画
利用率(面積ベース)	91%	37%
立地企業数	54社	12社
従業員数	3392人	328人

[参考]米沢市の企業誘致促進策

H26. 1. 6河北新報

米沢市が工業団地誘致促進策 企業立地情報に報奨金

4月から 宅地建物取引業対象

米沢市が企業誘致に力を入れる米沢オフィス・アルカディア

米沢市は、米沢市工業団地を核として、米沢市を工業団地誘致促進策として、立地を希望する企業への情報を提供した宅地建物取引業者に対し、立地決定に報奨金を支払う制度を始め、市山形県が手組みの債権や、立地希望企業は対象団地に関わる事業者は対象外とした。

米沢市は、米沢市工業団地を核として、米沢市を工業団地誘致促進策として、立地を希望する企業への情報を提供した宅地建物取引業者に対し、立地決定に報奨金を支払う制度を始め、市山形県が手組みの債権や、立地希望企業は対象団地に関わる事業者は対象外とした。

米沢市は、米沢市工業団地を核として、米沢市を工業団地誘致促進策として、立地を希望する企業への情報を提供した宅地建物取引業者に対し、立地決定に報奨金を支払う制度を始め、市山形県が手組みの債権や、立地希望企業は対象団地に関わる事業者は対象外とした。

米沢市は、米沢市工業団地を核として、米沢市を工業団地誘致促進策として、立地を希望する企業への情報を提供した宅地建物取引業者に対し、立地決定に報奨金を支払う制度を始め、市山形県が手組みの債権や、立地希望企業は対象団地に関わる事業者は対象外とした。